

# 第3期埼玉県教育振興基本計画（案）の概要

## 第2期計画の成果と課題

- 確かな学力の育成 → 埼玉県学力・学習状況調査を活用した指導改善の一層の推進
- 心と体の育成 → 児童生徒の自己肯定感・自己有用感の向上、運動習慣の確立
- 学校教育環境の充実 → 教員の授業力向上
- 家庭・地域の教育力の向上 → 「親の学習」の推進、学校応援団の活動内容の一層の充実
- 生涯学習活動の支援とスポーツの推進 → 生涯学習活動への参加促進、スポーツの推進

## 教育を取り巻く社会の動向等

- 人口構造の変化
- 急速な技術革新
- グローバル化の進展
- 経済・雇用情勢と格差の拡大
- 地球規模の問題の進行
- 子供をめぐる状況の変化
- 家庭・地域の状況変化
- 教員の役割の増大

## 今後取り組むべき課題

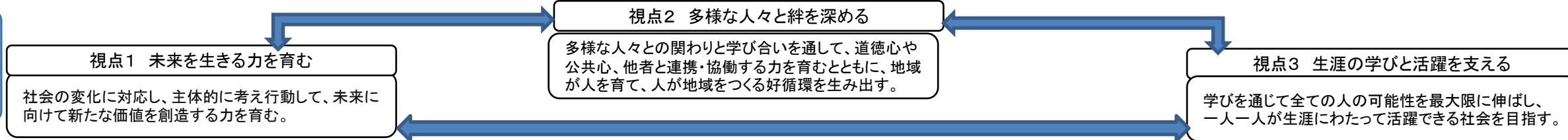
- ①社会の激しい変化に対応するための知・徳・体の育成と環境整備
- ②職場や地域社会で多様な人々と連携・協働する力の育成
- ③多様なニーズに対応した教育機会の提供
- ④家庭教育の支援、学校・家庭・地域の連携・協働
- ⑤人生100年時代を見据えた生涯学習・文化・スポーツの推進

## 基本理念：「豊かな学びで 未来を拓く 埼玉教育」

誰もが参画しうる生涯を通じた多様な学びを実現し、自身の人生や社会の未来を切り拓く力を育成する

- 夢や志、豊かな心を持ちつつ、社会の激しい変化に対応して、主体的に社会に関わり、未来に向けて新たな価値を創造できる力を育成する。
- 埼玉県学力・学習状況調査や協調学習、学校応援団など、本県独自の先進的な取組を更に発展させ、充実させる。

## 理念の実現に向けた3つの視点



## 10の目標と30の施策

### 主に児童・生徒に対する施策

- 目標Ⅰ 確かな学力の育成**  
 施策1: 一人一人の学力を伸ばす教育の推進  
 施策2: 新しい時代に求められる資質・能力の育成  
 施策3: 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進  
 施策4: 技術革新に対応する教育の推進  
 施策5: 人格形成の基礎を培う幼児教育の推進
- 目標Ⅱ 豊かな心の育成**  
 施策6: 豊かな心を育む教育の推進  
 施策7: いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実  
 施策8: 人権を尊重した教育の推進
- 目標Ⅲ 健やかな体の育成**  
 施策9: 健康の保持・増進  
 施策10: 体力の向上と学校体育活動の推進
- 目標Ⅳ 自立する力の育成**  
 施策11: キャリア教育・職業教育の推進  
 施策12: 主体的に社会の形成に参画する力の育成
- 目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進**  
 施策13: 障害のある子供への支援・指導の充実  
 施策14: 不登校児童生徒・高校中途退学者等への支援  
 施策15: 経済的に困難な子供への支援  
 施策16: 一人一人の状況に応じた支援

### 主に子供を取り巻く環境に関する施策

- 目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実**  
 施策17: 教職員の資質能力の向上  
 施策18: 学校の組織運営の改善  
 施策19: 魅力ある県立高校づくりの推進  
 施策20: 子供たちの安心・安全の確保  
 施策21: 学習環境の整備・充実  
 施策22: 私学教育の振興
- 目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上**  
 施策23: 家庭教育支援体制の充実  
 施策24: 地域と連携・協働した教育の推進

### あらゆる年齢層に対する施策

- 目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進**  
 施策25: 学びを支える環境の整備  
 施策26: 学びの成果の活用の促進
- 目標Ⅸ 文化芸術の振興**  
 施策27: 文化芸術活動の充実  
 施策28: 伝統文化の保存と持続的な活用
- 目標Ⅹ スポーツの推進**  
 施策29: スポーツ・レクリエーション活動の推進  
 施策30: 競技スポーツの推進

## （今後5年間で挑戦する取組）

- ①埼玉県学力・学習状況調査や協調学習の拡充
- ②学習データを活用した個に応じた学びの研究
- ③地域との連携・協働による社会に開かれた学校づくり

## 計画の推進に際して

- 市町村、学校、家庭、地域、大学・企業等など、様々な関係者と連携・協働しながら社会全体で教育に取り組む
- 客観的な根拠を重視した行政運営(EBPM)にも留意しつつ、PDCAサイクルにより計画を着実に実現

# これまでの埼玉独自の取組を基に、今後5年間で挑戦する取組

## （これまでの埼玉独自の取組）

### 「埼玉県学力・学習状況調査」の実施・活用

- 児童生徒一人一人の学力の伸び（経年変化）や非認知能力等を継続して把握できる本県独自の調査
- 毎年約30万人分のビッグデータの分析・研究
- 調査の共同実施や調査結果の共有、活用に向けて、官民の多様な主体で構成するコンソーシアムを開催
- 調査結果を踏まえた市町村・学校への重点的な支援を実施（家庭の経済状況などが厳しく学力に課題のある小学校3・4年生への支援等）
  - 調査結果から効果的な指導を実施する学級を見出し、指導の工夫・改善に活用することで、各学校における指導改善サイクルを確立
  - 埼玉の優れた取組を全国にアピール

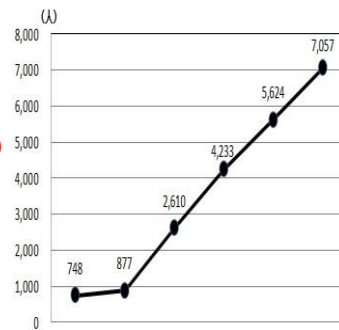
### 「協調学習」の実施

- 平成22年度から東京大学CoREFと連携し、「主体的・対話的で深い学び」を引き起こす「知識構成型ジグソー法」の手法を用いた協調学習の授業づくりを研究

#### 「知識構成型ジグソー法」

一つのテーマについて、その課題解決のヒントとなるいくつかの資料ごとにグループに分かれて話し合い、その後、違う資料を学んだ者が新しいグループを作り、それぞれが理解した知識を組み合わせることで答えを導く学習方法

- 協調学習の対外発信に向けて、未来を拓く「学び」プロジェクトシンポジウムを開催（H29：北海道から福岡県までの21都道府県から、700人超が参加）
- 研修や公開研究授業を実施し、教員の資質能力を向上（「主体的な学び」に関する研修を受講し実践した教員数）
  - H24：748人→H29：7,057人
  - ICT等を活用し、一人一人に適した教育の研究



### 「学校応援団」の活動支援

- 「学校応援団」を、県内全ての小・中学校で組織。活動回数は年間平均223回
- 90%以上の応援団で、子供の学習活動支援、安心安全確保に向けた取組を実施
- ⇔ 他方、現状の関係は学校が地域から支援してもらうのみの「一方向の関係」が多く、コーディネーター数も減少傾向
- 地域の側にもメリットがある持続可能な関係の新たな創出



## （今後5年間で挑戦する取組）

### ① 埼玉県学力・学習状況調査や協調学習の拡充

#### 【埼玉県学力・学習状況調査の拡充】

- ◆ 調査結果から見てきた教員の効果的な指導方法を全県へ普及
  - 例：児童生徒の学力を伸ばした教員の授業動画を活用した研修の実施
- ◆ 本県の取組を他の自治体にも拡大させ、調査データや効果的な取組を共有
  - 例：県学調を共同実施する自治体とお互いの効果的な取組の共有

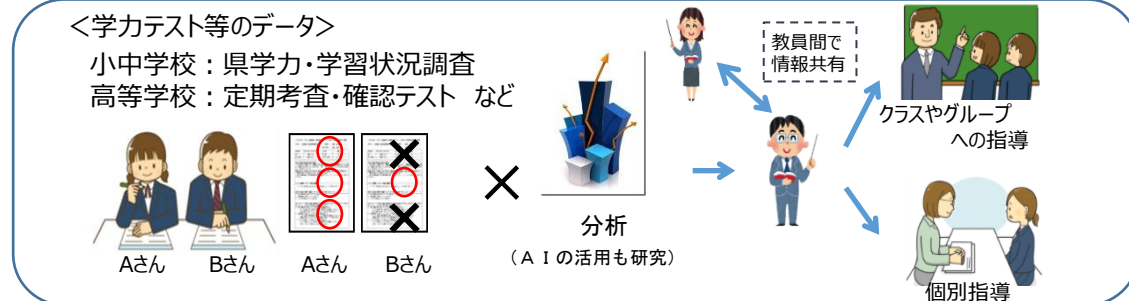
#### 【協調学習の充実】

- ◆ 協調学習の質の向上に向けた取組の推進
  - 例：協調学習マイスターによる研修の実施
  - ICTを活用した協調学習の推進
- ◆ 学校間を超えた授業づくりのネットワークを拡充
  - 例：小・中学校、高等学校の教員を対象とした協調学習に関する合同研究会を開催

### ② 学習データを活用した個に応じた学びの研究

#### ◆ 「個に応じた学び」の実現に向けた研究

例：学力テスト等のデータの分析を基に、「個に応じた学び」を研究

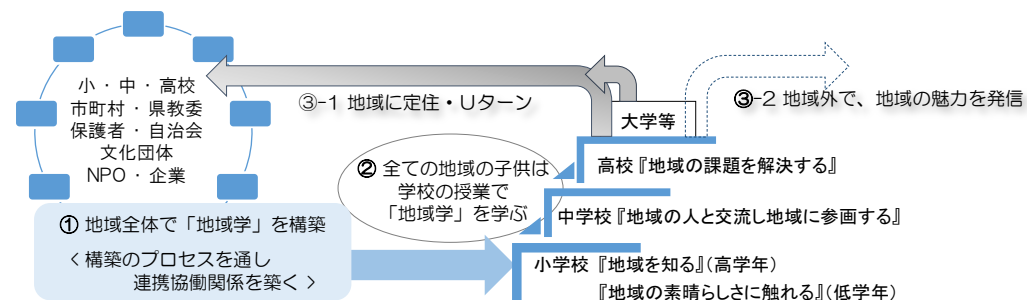


※ 県学調のデータ活用の一環として、福祉部と連携した取組も実施

### ③ 地域との連携・協働による社会に開かれた学校づくり

- ◆ 学校応援団の取組を一層充実させ、学校と地域の連携・協働という双方向の関係を創出。地域全体で子供たちを心豊かでたくましい人材として育てることを通し、学校も地域も豊かにする。

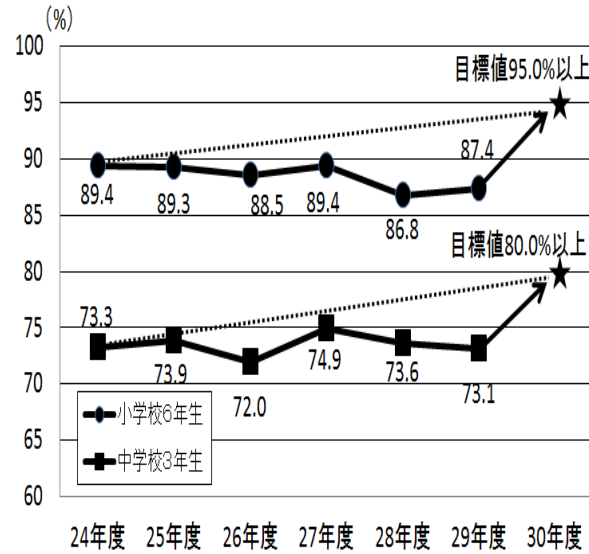
例：地域全体で「地域学」を構築することや、発達段階に応じて「地域学」を学ぶことを通し、実社会を教材として「生きる力」を育むとともに、地域社会の活力につなげる。



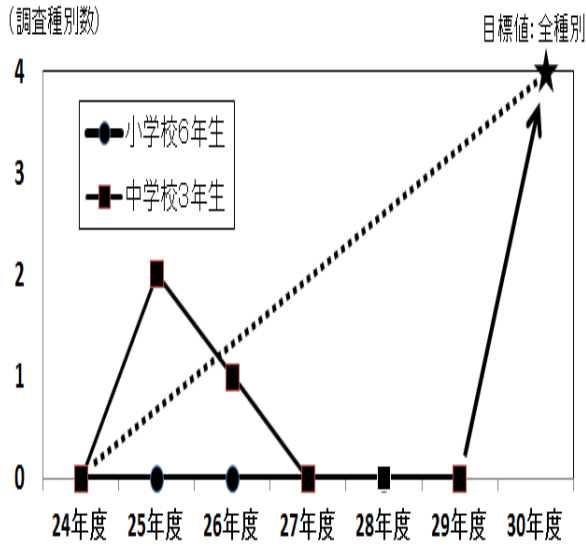
# 【参考データ】第2期埼玉県教育振興基本計画の進捗状況

全33指標のうち、第2期計画策定時より上昇 25指標。うち、平成29年度末において目標達成 9指標。  
基本目標 I「確かな学力と自立する力の育成」

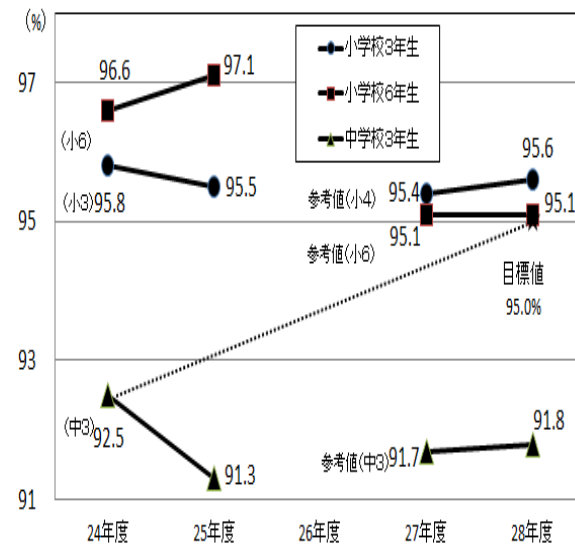
(1) 将来の夢や希望を持っていると回答した児童生徒の割合



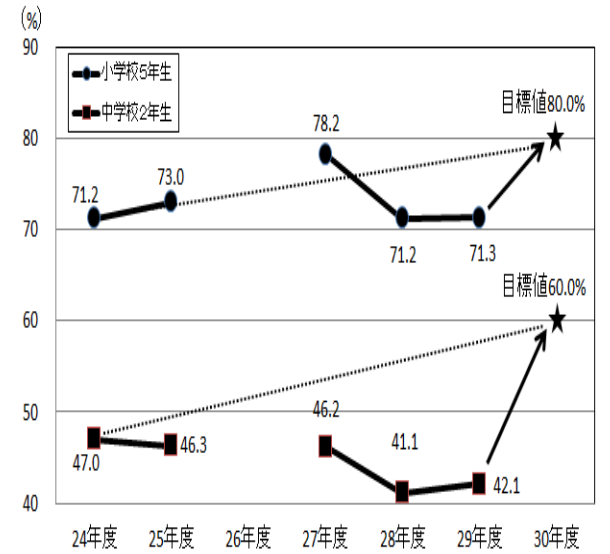
(2) 全国学力・学習状況調査において、小学校6年生では全国平均正答率(公立)を1ポイント以上上回る、中学校3年生では全国平均正答率(公立)を上回る正答率となった調査種別の数



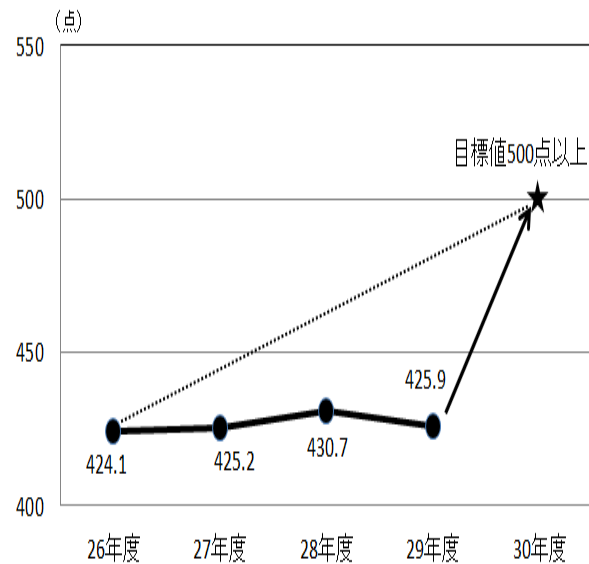
(3) 「教育に関する3つの達成目標」における基礎学力定着度



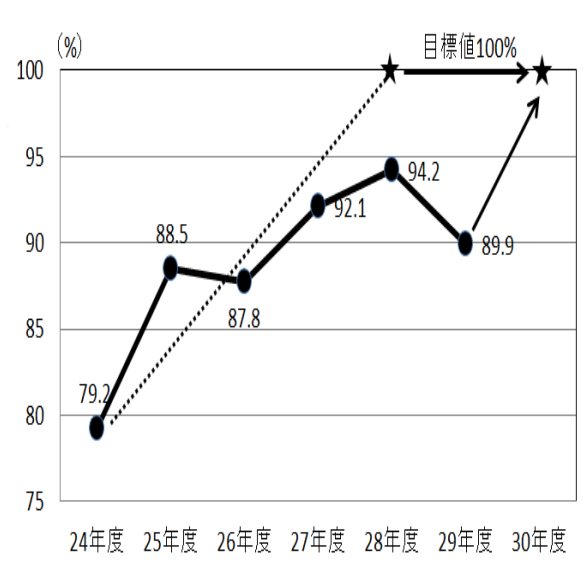
(4) 地域の歴史や自然について関心があると回答した児童生徒の割合



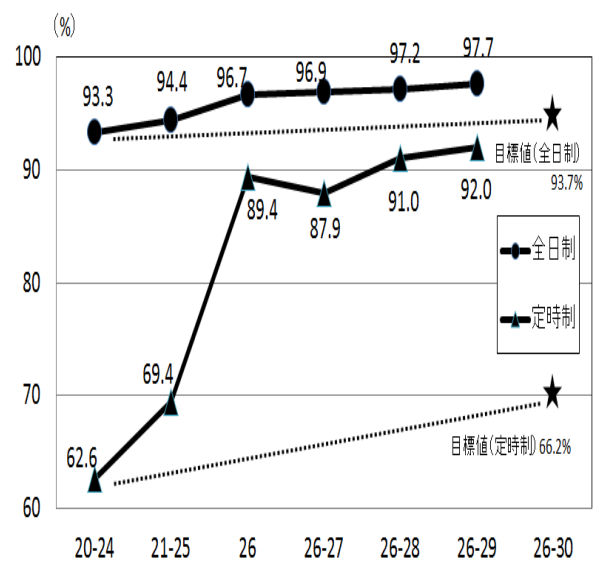
(5) 県立高等学校外国語科3年生全生徒のTOEIC-IPテストの平均点



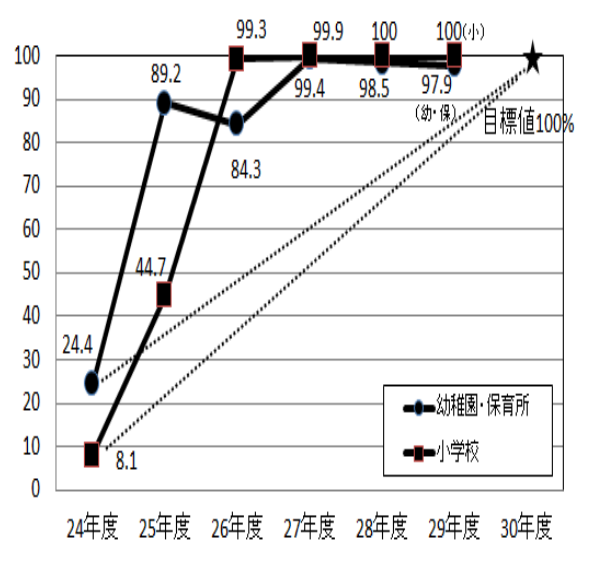
(6) 大学や研究機関などと連携した講義や授業を教育活動に取り入れている県立高等学校の割合



(7) 県立高等学校卒業生における就職希望者のうち就職内定者の割合 (計画期間内平均値)



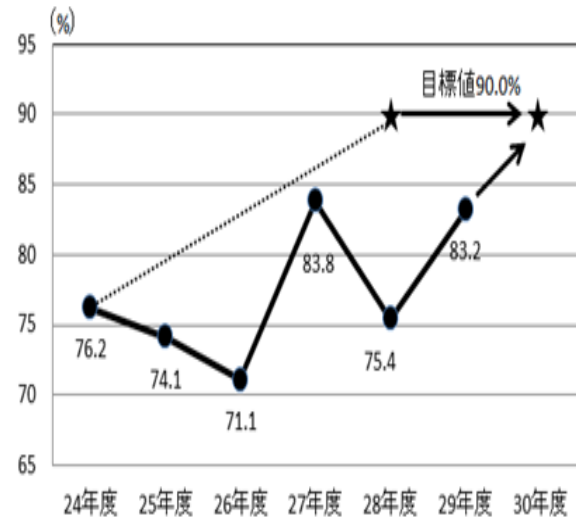
(8) 「接続期プログラム」などを活用し保育計画・指導計画の工夫を行っている幼稚園・保育所・公立小学校の割合



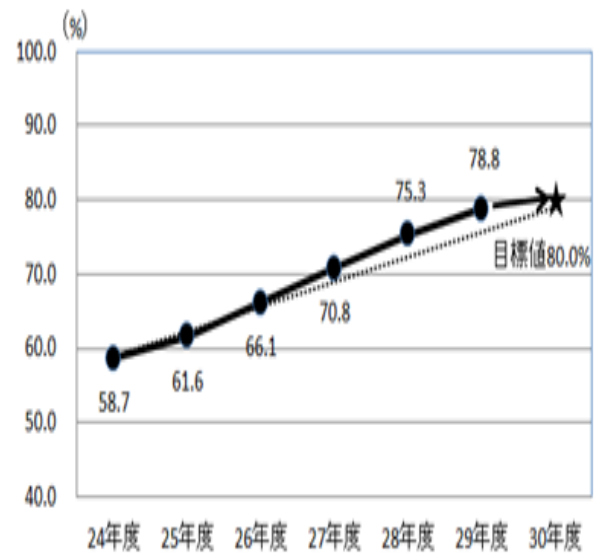
# 【参考データ】第2期埼玉県教育振興基本計画の進捗状況

## 基本目標 I 「確かな学力と自立する力の育成」

(9) 特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒のうち実現した割合



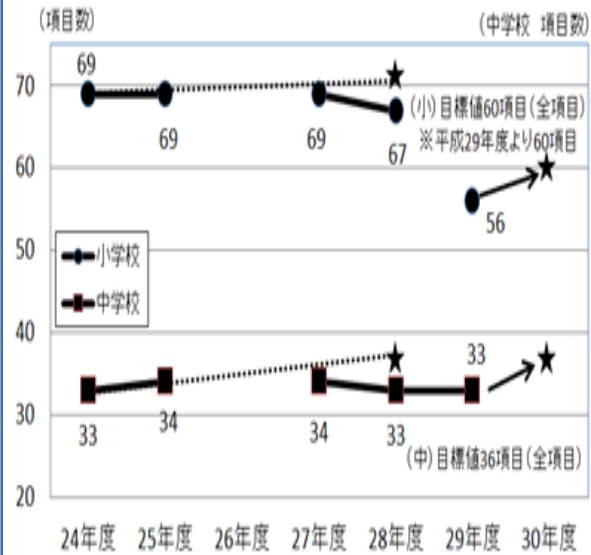
(10) 小・中学校における特別支援学級の設置率



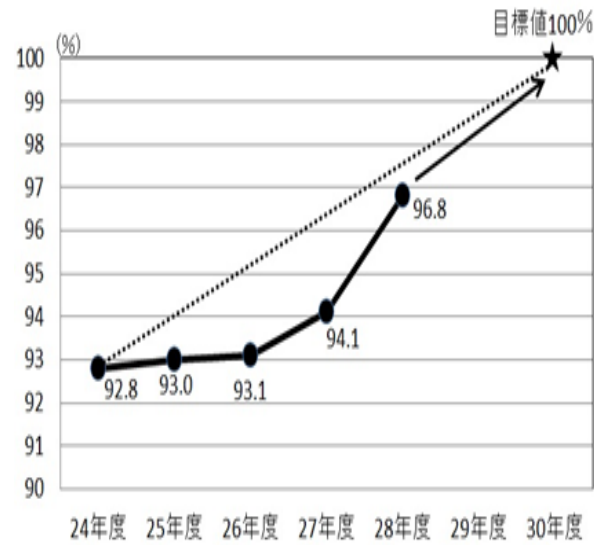
# 【参考データ】第2期埼玉県教育振興基本計画の進捗状況

## 基本目標Ⅱ「豊かな心と健やかな体の育成」

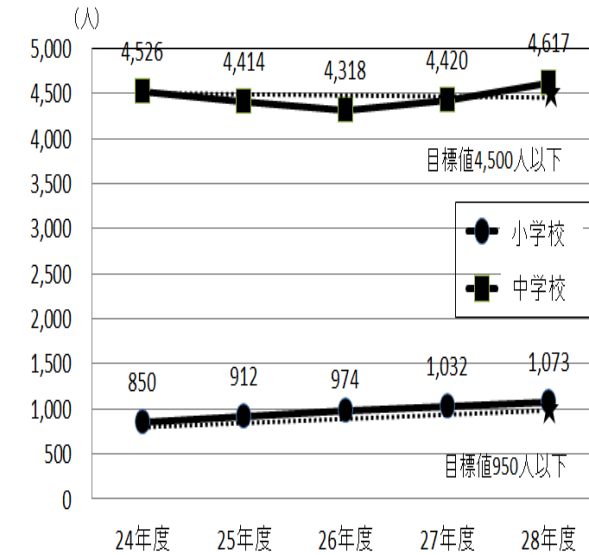
(11) 児童生徒の8割以上に身に付いている「規律ある態度」の項目数



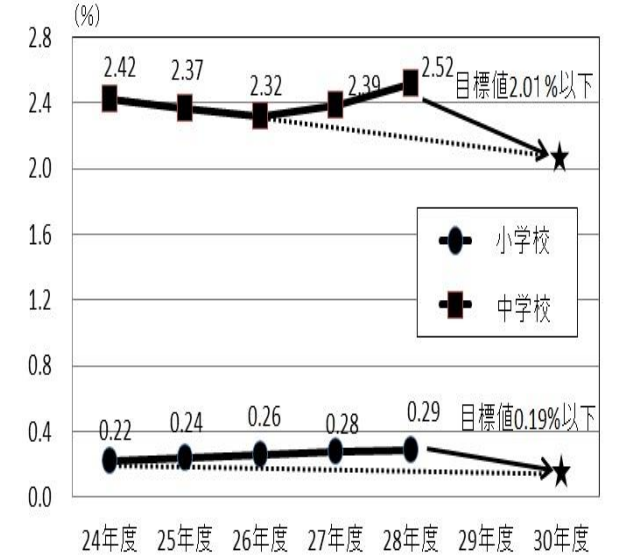
(12) いじめの解消率



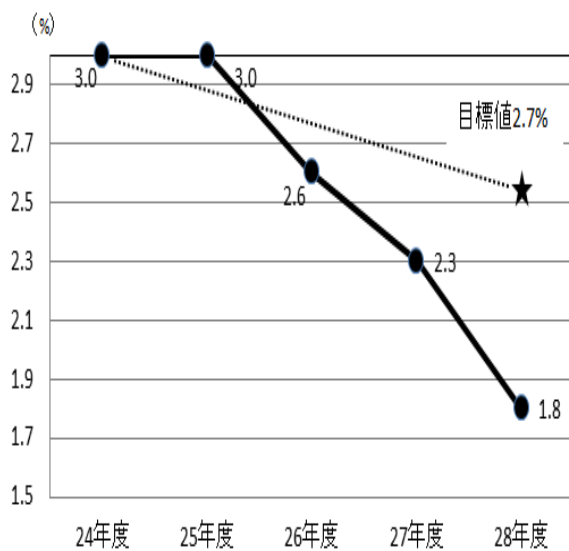
(13) 不登校(年間30日以上)児童生徒数



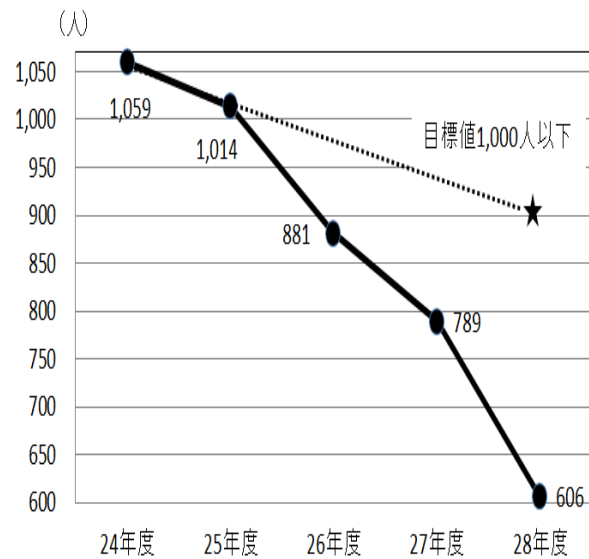
(14) 不登校児童生徒の割合



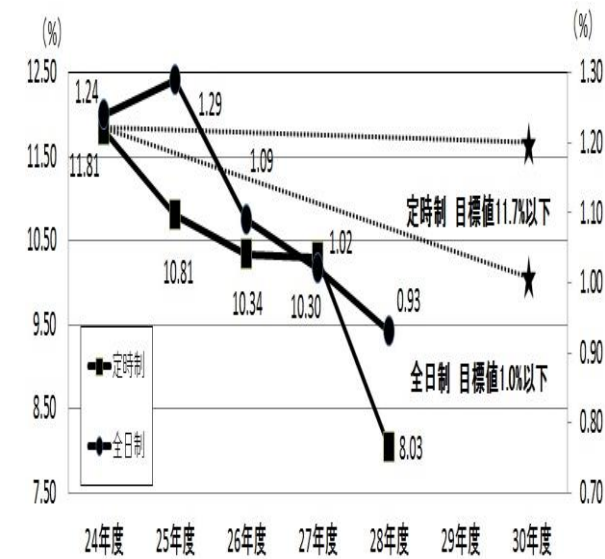
(15) 公立高等学校1年生の中途退学率及び中途退学者数  
① 中途退学率



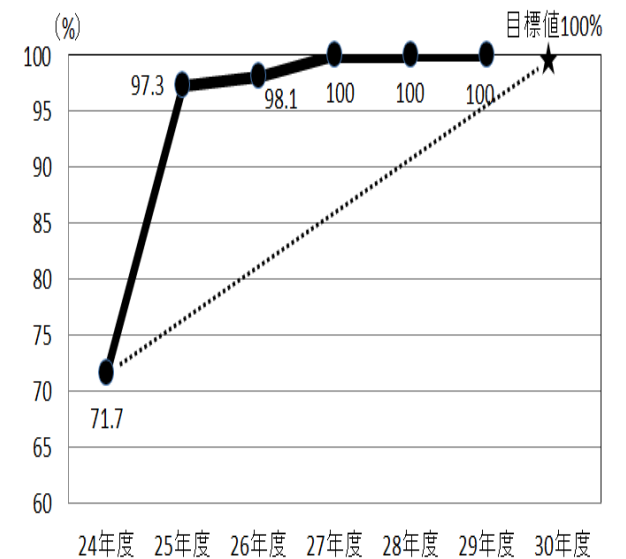
② 中途退学者数



(16) 公立高等学校における中途退学率



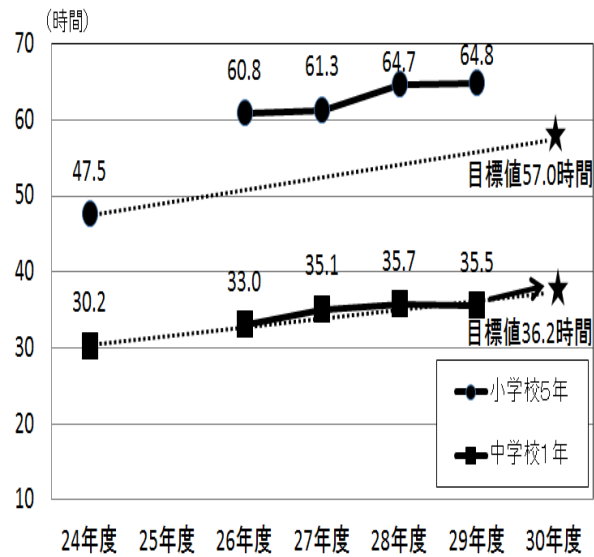
(17) 人権感覚プログラムを実践した学校の割合



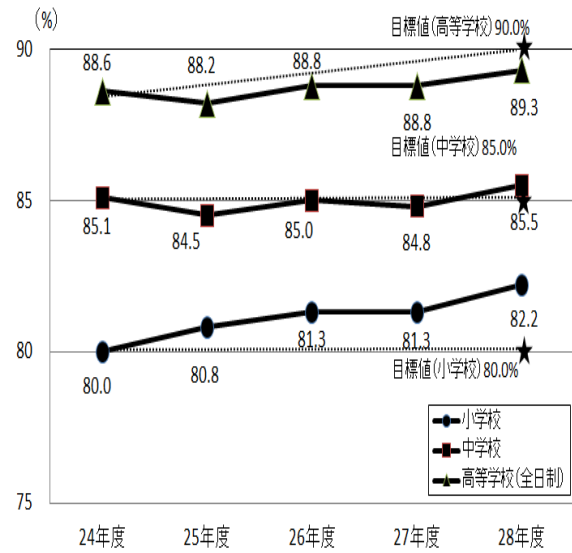
# 【参考データ】第2期埼玉県教育振興基本計画の進捗状況

## 基本目標Ⅱ「豊かな心と健やかな体の育成」

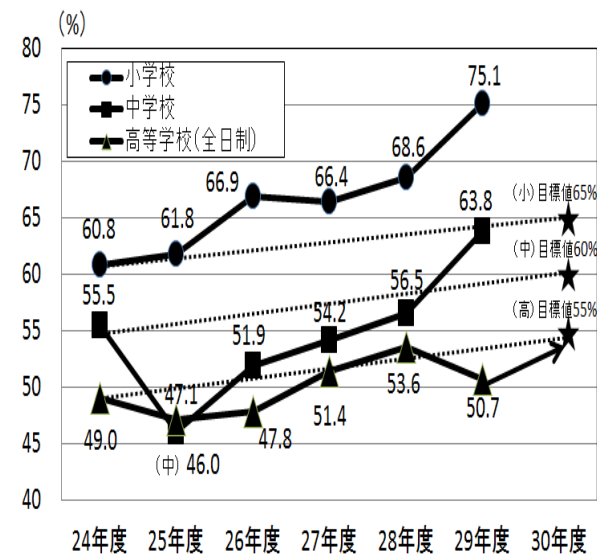
(18) 食育指導の取組時数



(19) 体カテストの5段階絶対評価で上位3ランク(A、B、C)の児童生徒の割合



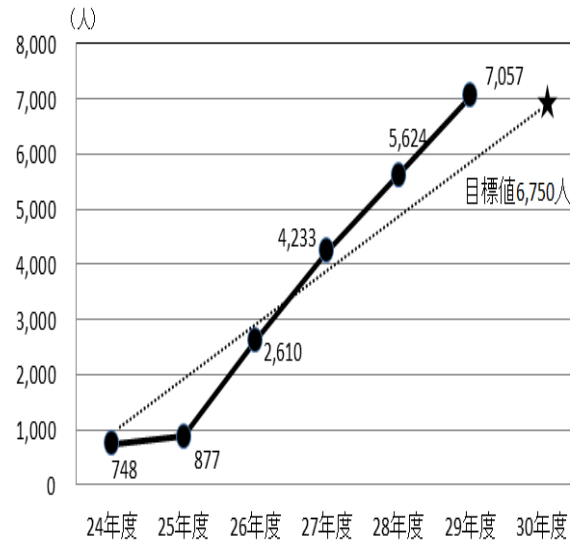
(20) 体カテストの5段階絶対評価で上位3ランク(A、B、C)の児童生徒の割合が目標値に達した学校の割合



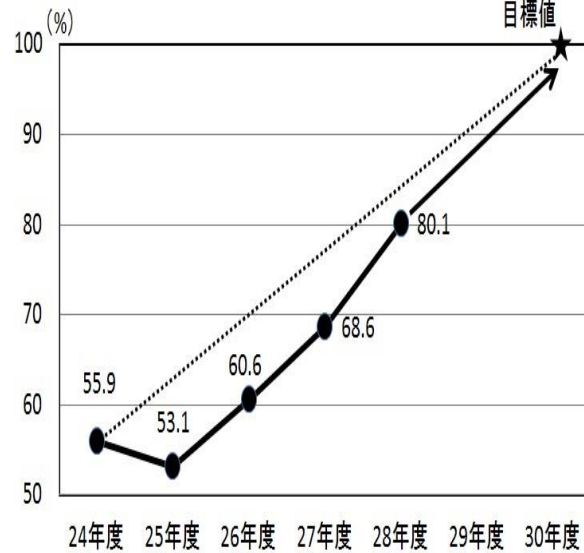
# 【参考データ】第2期埼玉県教育振興基本計画の進捗状況

## 基本目標Ⅲ「質の高い学校教育を推進するための環境の充実」

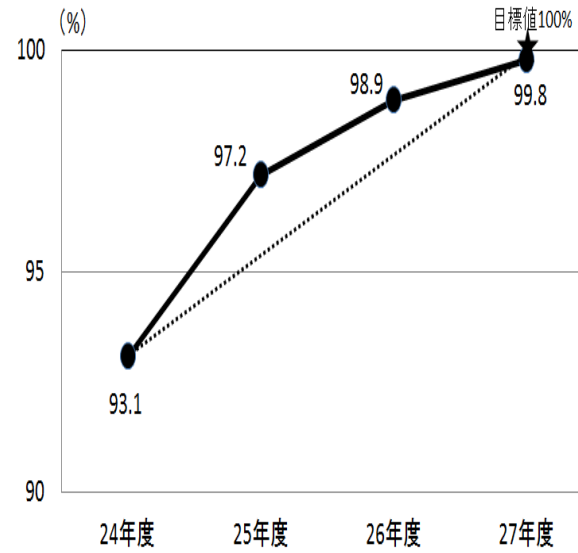
(21)「主体的な学び」の実現に関する研修を受講し「授業実践」を行った教員の人数



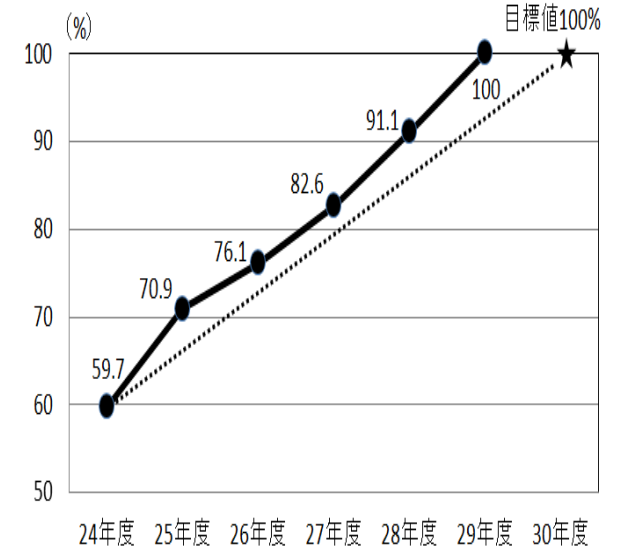
(22) 学校関係者評価の結果を保護者などへ複数の方法により公表している県立学校の割合



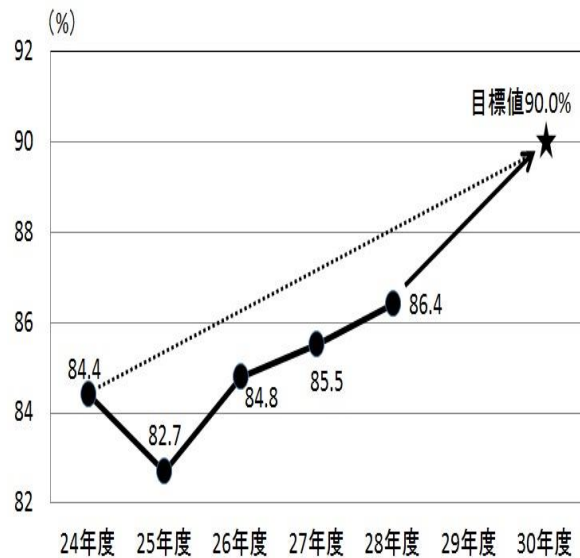
(23) 公立小・中学校の耐震化率



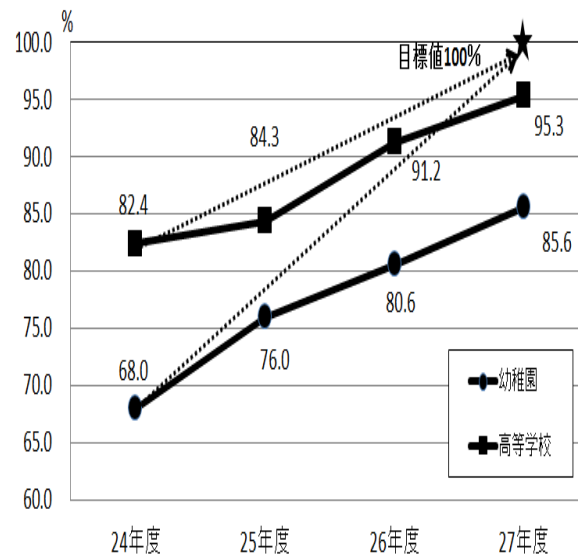
(24) 生徒が参加する救急救命(AEDの操作方法を含む。)に関する講習を実施している県立高等学校の割合



(25) 公立高等学校教員のうち校務にICTを活用できると回答した教員の割合



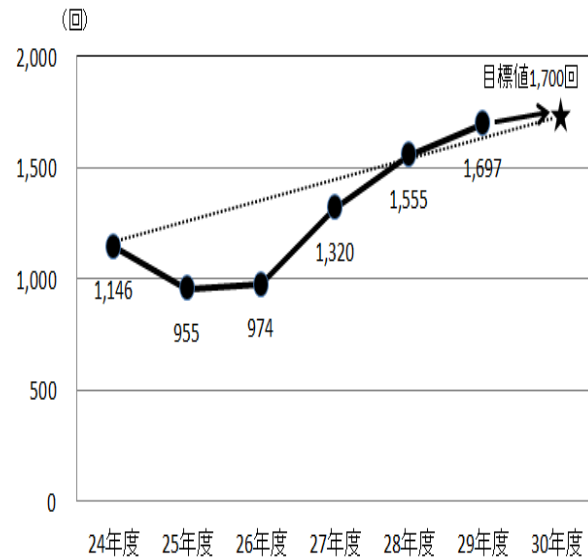
(26) 私立幼稚園・高等学校の耐震化率



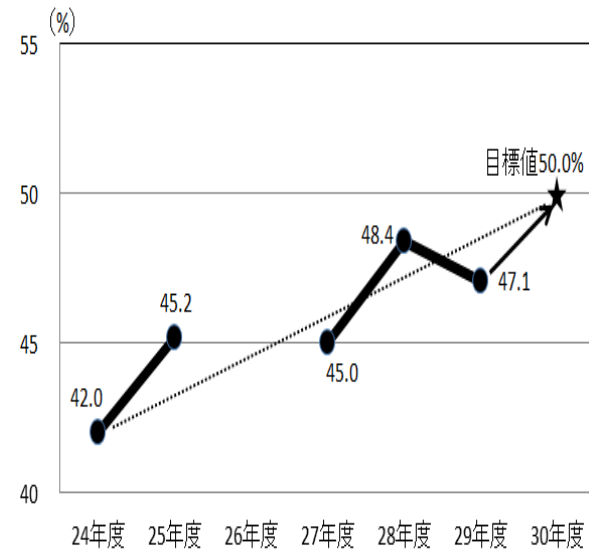
# 【参考データ】第2期埼玉県教育振興基本計画の進捗状況

## 基本目標Ⅳ「家庭・地域の教育力の向上」

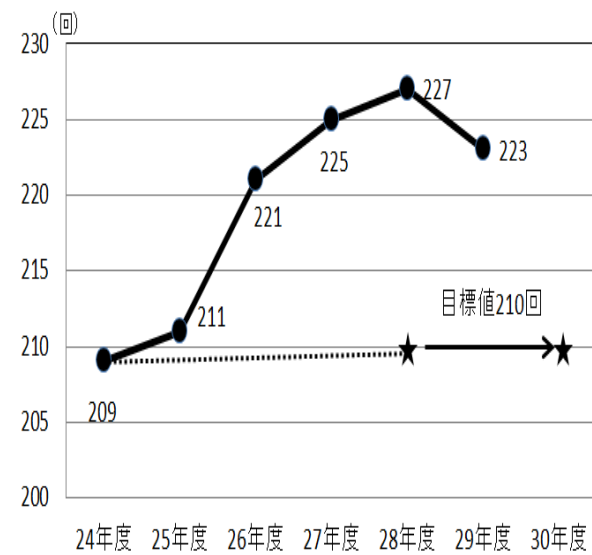
(27)「親の学習」講座の年間実施回数



(28)地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあると回答した小学校6年生の割合

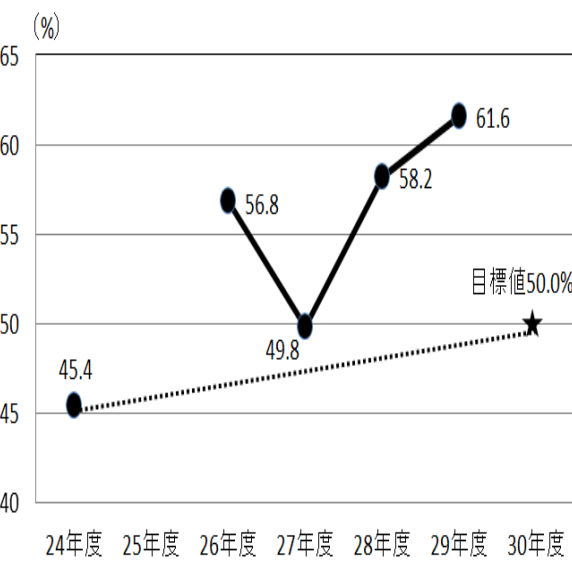


(29)小・中学校における学校応援団の年間活動回数

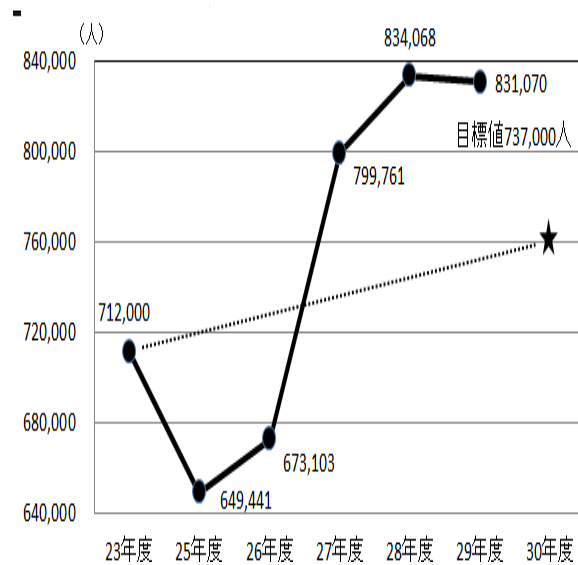


## 基本目標Ⅴ「生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進」

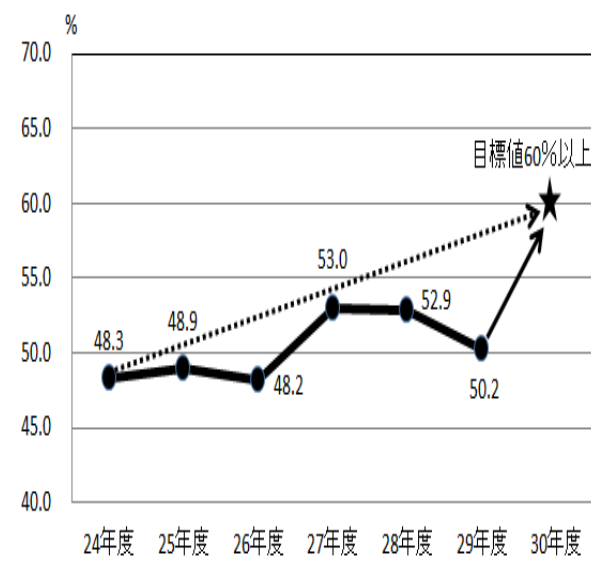
(30)生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を生かしている人の割合



(31)県立美術館・博物館の年間利用者数



(32)週1回以上スポーツをする20歳以上の県民の割合



(33)スポーツに関する施策に対する県民満足度

